(19)

七ノ婦ヲ場トナシ附近ヲ述ヘ以テ□□状況ノ対策ヲ協議シ
為メ予等ハ其實先ニ工事ノ趣旨ノ為ニ其ノ為ニ流速區ヲ定メ他ノ作
業ヲ促シ且ツ今後割ニ保留シ其意見ヲ以テ提案
其ノ外出ヲ見合セ急ヲ要スル場合ニ於テノ休業ノ當サシテ等案ヲ
ナシテ今尚未タ決定ヲ見ルニ至ラス

二、争議ノ動機

イ、會社側ノ切崩策

争議發生以來同日以來會社側ハ雇傭部長ヲ主トシ會社側
ニ於テ切崩シ策ヲ樹立シ職工ニ對シ之ヲ防禦策トナシ
十五日夜□各醸造所ノ勤務者ニ傳達シ以テ應援ヲ求メ
ノ處置ヲ發シ青伝文部長大村仙川主任ニ馬場ニ於
同氏ハ佐野文部並子侯爵ニ市川主任ヲ説伏シ他ノ八幡主任
卅日芳泉主任鳥部川辺主任八名大同主任野上義

克ク右ノ應援ヲ求メ争議會社部山口、川口、坂本、木ノ南田
從テ右ノ者等ハ會ノ指示ニ依リ之ヲ同シテ勤務ニ從事スルコト
要シ婦女一兩名ハ各令状ヲ投票シテ要求中ノ職工ノ工場
ニ困難ナルコトニ對シテハ其ノ者ノ意見ニ依リ其ノ掛合
ヲ爲ス争議要求ニ付テ當局ニ對シテハ本人ノ申出ニ依リ
處分辞令ヲ爲ス一月二十四日付ノ掛合ヲ以テ後ニ回シ争議
會ニ於テ掛合スル爲メ調停並ニ十分野田部長ト對シ掛合
ヲ申出ヲ要シタリ（新聞七月三日）

ロ、將來再起ノ形勢

争議ハ表面上前述ノ如ク解決シタルモ依然トシテ裏面ニ暗
ハ之ヲ要スルニ確實ナラサルモ尚ホ其ノ他ノ會社側ノ野
田勤務ノ事務所ニ之ヲ依頼シテ其ノ後ノ作業ノ日程

財團 協調會
法人 協調會